

散布日	散布時期	散布薬剤 (水 100ℓ当り)	収穫前 使用 時期	使用 回数 (以内)	散布量 (ℓ)	対象病害虫	注 意 事 項
月 日	第1回 3月中下旬 発芽前	(水 88ℓ) スプレーオイル *① 2ℓ 石灰硫黄合剤 *② 10ℓ	発芽前 休眠期	— —	300	腐らん病 ハダニ類 カイガラムシ類	① 混用順:スプレーオイルに石灰硫黄合剤を加用する。 ② 石灰硫黄合剤に代えてベフラン液剤 25 の 1000 倍(休眠期、6回以内。ただし開花期以降は3回)を使用してもよい。 混用順:ベフラン液剤 25 にスプレーオイルを加用する。
月 日	第2回 4月上中旬 (展葉後)	展着剤 *① 10mℓ ユニックス顆粒水和剤 47 100g	14日前	4回	350	黒星病 うどんこ病	① うどんこ病対策 4月中旬(発芽10日後)にコロナフロアブル 400 倍を特別散布する。
月 日	第3回 5月初旬 (開花期)	展着剤 *① 10mℓ オンリーワンフロアブル 50mℓ トレノックスフロアブル 200mℓ サムコルフロアブル10 20mℓ	7日前 30日前 前日	3回 5回 3回	400	黒星病・黒点病 うどんこ病 ケムシ類、ハマキムシ類	① アブラムシ類対策 早期発生が見られる場合は、ウララDF2000 倍(14 日前、2 回)を加用する。
月 日	第4回 5月中旬 (落花後) (前回より10日後)	展着剤 10mℓ アスパイア水和剤 *① 200g	30日前	3回	500	黒星病、黒点病 うどんこ病、赤星病	① 黒星病対策 アスパイア水和剤に代えて、スコアMZ水和剤 500 倍(30 日前、3 回)を使用する。 ② ケムシ類対策 フェニックスフロアブル 4000 倍(前日、2 回)を加用する。
月 日	第5回 5月下旬 (前回より10日後)	展着剤 10mℓ フルーツセイバー 50mℓ コルト顆粒水和剤 *① 25g	前日 前日	3回 3回	500	黒星病、黒点病 うどんこ病、赤星病 アブラムシ類 カイガラムシ類	① コルト顆粒水和剤に代えて、モスピラン顆粒水溶剤 4000 倍(前日、3 回)でもよい。
月 日	第6回 6月上旬 (前回より15日後)	展着剤 *①、② 10mℓ アントラコール顆粒水和剤 200g ダズバンDF 33g	45日前 45日前	4回 1回	600	黒星病、黒点病 斑点落葉病、褐斑病、炭そ病 シンクイムシ類、ハマキムシ類 クワコナカイガラムシ リンゴワタムシ	① カイガラムシ類対策 アブロードフロアブル 1000 倍(30 日前、2 回)を加用する。 ② 枝腐らん病対策 トップジン M 水和剤 1,000 倍(前日、6 回)を加用する。
月 日	第7回 6月中下旬 (前回より15日後)	展着剤 10mℓ シトラノフロアブル *① 100mℓ スプラサイド水和剤 66g	45日前 30日前	3回 2回	600	炭そ病、輪紋病 斑点落葉病、褐斑病 ナシヒメシンクイ、モモシンクイガ ハマキムシ類、リンゴワタムシ クワコナカイガラムシ、カメムシ類	① シトラノフロアブルに代えて、オキシラン水和剤 500 倍(14日前、4回)でもよい。
月 日	第8回 7月上旬 (前回より15日後)	展着剤 *① 10mℓ バイスロイドEW 50mℓ ナリア WDG *③ 50g	7日前 前日	4回 3回	600	炭そ病、輪紋病 斑点落葉病、褐斑病 シンクイムシ類、ハマキムシ類 キンモンホソガ ギンモンハモグリガ	① 褐斑病対策 :トップジン M 水和剤 1000 倍(前日、6 回)を加用する。 ② 輪紋病対策 :IC ボルドー412 の 33 倍を7 月初旬に特別散布する。ただし、早生種にはボルドー液は使用しない。 ③ ナリア WDG は、ピオーネ、サニールージュに薬害を生じる恐れがあるので飛散しないようにする。
／	特別散布 7月中旬	展着剤 10mℓ オーソサイド水和剤 80 125g	14日前	6回	600	輪紋病、炭そ病 斑点落葉病、褐斑病	① 散布時期は前回より7～10 日後を目安とする。 ② 通常展着剤に代えて、固着性展着剤のアピオン E の 1000 倍を使用すると薬液付着効果が高まる。
月 日	第9回 7月中下旬 (前回より15日後)	展着剤 *① 10mℓ ダニコングフロアブル *② 50mℓ オリオン水和剤 40 100g オキシラン水和剤 200g	前日 前日 14日前	1回 2回 4回	600	輪紋病、炭そ病 斑点落葉病、褐斑病 ハダニ類 シンクイムシ類、ハマキムシ類 カイガラムシ類	① 通常展着剤に代えてササラ 2000 倍を使用すると薬液の広がりがよくなり、散布後の乾きも早くなる効果がある。 ② ダニコングフロアブル に代えて、スターマイトフロアブル 2000 倍(前日、1回)でもよい。
月 日	第10回 8月上旬 (前回より15日後)	展着剤 *① 10mℓ コロマイト乳剤 100mℓ エクシレル SE 20mℓ ダイパワー水和剤 100g	前日 前日 14日前	1回 3回 3回	600	輪紋病、炭そ病 褐斑病、斑点落葉病 ハダニ類 シンクイムシ類 ハマキムシ類 キンモンホソガ	① 通常展着剤に代えてササラ 2000 倍を使用すると薬液の広がりがよくなり、散布後の乾きも早くなる効果がある。
／	特別散布 8月中旬	展着剤 10mℓ バリアード顆粒水和剤 50g	前日	3回	600	シンクイムシ類 カメムシ類	① 散布時期は前回より7～10 日後を目安とする。
月 日	第11回 8月中下旬 (前回より15日後)	展着剤 10mℓ フリントフロアブル25 50mℓ イカズチWDG 66g オマイト水和剤 *① 133g	前日 前日 3日前	4回 2回 1回	600	輪紋病、炭そ病、斑点落葉病 褐斑病、すす点病、すす斑病 ハダニ類 シンクイムシ類、ハマキムシ類 キンモンホソガ、ギンモンハモグリガ	① オマイト水和剤 はナシ類に登録が無いので、飛散しないように注意する。
月 日	第12回 9月上旬 (前回より15日後)	展着剤 10mℓ ストライド顆粒水和剤 *① 66g ダントツ水溶剤 50g	前日 前日	3回 3回	600	炭そ病、斑点落葉病、褐斑病 すす点病、すす斑病 シンクイムシ類、カメムシ類 キンモンホソガ、ギンモンハモグリガ コナカイガラムシ類、リンゴワタムシ	① ストライド顆粒水和剤は、高温時に散布すると薬害が生じる恐れがあるので注意する。
月 日	第13回 9月中下旬 (前回より15日後)	展着剤 10mℓ ベフラン液剤25 50mℓ ディアナ WDG 10g	前日 前日	3回 2回	600	すす点病、すす斑病 斑点落葉病、褐斑病 シンクイムシ類 キンモンホソガ	① 10月上旬の特別散布 すす病予防のため、ストライド顆粒水和剤 1500 倍(前日、3 回)又はベフラン液剤 2000 倍(前日、2 回)を散布する。

◆ 安全・安心な農産物生産のために、防除・使用基準を厳守しましょう。

JA 創造的自己改革実践